

「新潟県厚生連医誌」投稿規定（14版、2019/04/01）

はじめに	必ず守って いただきたい 事	凡例	以下に詳細に注意書きされておりますが、 http://www.nkp-center.jp に投稿凡例（原著、症例報告）を掲載してありますので、参照してください。
		入力形式	原稿は Word で入力してください。 A4 版縦、横書き、日本語 MS 明朝、英語 Century、スタイル標準、文字サイズ 10.5、文字数 40、文字送り 10.5、行数 46、行送り 14.3、Tab 4 文字。 一切の入力加工操作（大文字、太字、網掛け、センタリングなど）はしないでください。
		表、図、写真	表・図・写真として 1 つにまとめて、本文の最後に添付してください。 それぞれの表・図・写真には、番号とタイトルと簡単な説明文をつけてください。 表の番号・タイトルは表の上に挿入し、図・写真の番号・タイトルは図・写真の下に挿入する。 簡単な説明文は表・図・写真の下に挿入する。 略語の正式名を下に付ける。 発表用 PowerPoint 形式、プリントコピーは受け付けません。
		ルビ	著者全員にルビをふってください。
		投稿時	原稿のプリントと CD または USB をそろえて投稿してください。
投稿資格、著者名		投稿者の少なくとも 1 名は新潟県厚生連関係者であることが望ましい。著者名は直接研究に従事した者に限定し、それ以外の関係者は本文末に謝辞として表記されたい。	
投稿内容		内容は、他紙に発表されたコピーでないものに限る、ヘルシンキ宣言に沿うものとする。	
掲載分類		総説・特集 (Review article)、原著 (Original article)、症例報告 (Case report)、経験 (Experience report)、統計 (Statistic report)、短報 (Brief report)、小さな工夫 (Invention report)、その他 (Others)	
論文構成	記載順と小見出し		題名、施設・所属名、著者名（ルビをふってください）、和文（または英文）抄録、索引用語（キーワード、Key Words）、本文、謝辞 Acknowledgement、文献 References、追加 Addendum、付録 Appendix、欧文（または和文）抄録（題名、施設、所属、著者名、抄録本文、Key Words キーワード）、表・図・写真一覧と各々の表図写真の番号・タイトル・簡単な説明文 Explanation of plates
		施設・所属	施設名 厚生連関連施設住所、電話、FAX、E-mail は一覧表として、巻末に掲載しますので、病院名のみ記載する。 所属部署名 貴施設内で日常使用している名称で記載する。
	本文構成	原著投稿	緒言 Introduction、対象と方法（材料と方法）Materials and Methods、結果 Results、考察 Discussion、（結語 Conclusion）
		症例報告	背景 Background、症例内容 Case report、考察 Discussion、（結語 Conclusion）
		総説・短報・その他	症例報告に準じた形式が望ましい。
	和文抄録	原著投稿	目的 (Objective)、方法 (Study design)、成績 (Results)、結論 (Conclusion)
		症例報告	背景 (Background)、症例内容 (Case report)、結論 (Conclusion)
		総説・短報・その他	症例報告に準じた形式が望ましい。
	英文抄録		構成・小見出しは和文抄録を参照してください。 題名、施設・所属名、著者名、キーワードは、投稿者で記載することが望ましい。 編集委員会でも作成助力させていただきますので、希望時は、依頼の旨を記入してください。
	引用	引用文献の番号を本文中に記入	本文中の該当する文章末に挿入する： …… (1) …… (2)
	参照	参照する図表を本文中に記入	本文中の該当する文章末に挿入する： …… (表 1 (Table 1)) …… (図 1 (Figure 1, Fig. 1)) …… (写真 1 (Figure 1, Fig. 1))
	索引用語、キーワード Key words		一番目の単語：対象を暗示する単語、二番目の単語：方法を暗示する単語、三番目の単語：内容を暗示する単語、以下、インターネット検索に最適な用語を追加する。略語は正式名も掲載する。
	文献	雑誌	1. 磯野波平、磯野船、磯野カツオ、磯野ワカメ、フグタマスオ、フグタサザエ他. 過食のために部屋から出れなくなった超肥満の 1 症例. サザエさん学術研究誌 1999; 55: 1056-9. 1. Isono N, Isono F, Isono K, Isono W, Fuguta M, Fuguta S et al. A case of superobesity not to get out from his room due to overeating. Studies of Sazae-san 1999; 55: 1056-9.
		本	2. 磯野波平、磯野船. 過食. 5 版. 東京: 医学出版; 1999. 1056-9 頁. 2. Isono N, Isono F. Overeating. 5th ed. Tokyo: Medical Publishers; 1999. p1056-9.
			3. 磯野波平、磯野フネ 他. 過食. 長谷川町子、長谷川村子編. 代謝障害. 5 版. 東京: 海山出版. 1999. 1056-9 頁. 3. Isono N, Isono F et al. Over-eating. In: Hasegawa M, Hasegawa M, editors. Disturbance of metabolism. 5th ed. Tokyo: Umiyama-Press, 1999. p1056-9.
抜粋章		4. 磯野波平、磯野船、磯野カツオ、磯野ワカメ、フグタマスオ、フグタサザエ他. 過食のために部屋から出れなくなった超肥満の 1 症例 (抄). サザエさん学会 (第 48 回総会抄録集) 1999; 55: 1056-9. 4. Isono N, Isono F, Isono K, Isono W, Fuguta M, Fuguta S et al. A case of superobesity not to get out from his room due to overeating [abstract]. Studies of Sazae-san 1999; 55: 1056-9.	
抄録			

	シンポジウム議事録 (proceeding)	5. 磯野波平、磯野船、磯野カツオ、磯野ワカメ、フグタマスオ、フグタサザエ他. 過食のために部屋から出れなくなった超肥満の1症例. 第8回サザエさん国際シンポジウム議事録: 1999年6月17-18日: 神戸市、東京: サザエさん学会: 1999. 1056-9頁.
	電子版 Web 版: 引用、論文 Journal article in electronic format	5. Isono N, Isono F, Isono K, Isono W, Fuguta M, Fuguta S et al. A case of superobesity not to get out from his room due to overeating. Proceedings of the 8th International Symposium on Sazae-san; 1999 June 17-18; Kobe, Japan, Tokyo: Studies of Sazae-san; 1999. p1056-9. 6. 磯野波平、磯野船、磯野カツオ、磯野ワカメ、フグタマスオ、フグタサザエ他. 過食のために部屋から出れなくなった超肥満の1症例. サザエさん学研究誌 1999; 55: 1056-9. オンラインジャーナル http://www.abc.def.htm (引用アクセス1999年6月5日) 6. Isono N, Isono F, Isono K, Isono W, Fuguta M, Fuguta S et al. A case of superobesity not to get out from his room due to overeating. Studies of Sazae-san 1999; 55: 1056-9. Online Journal http://www.abc.def.htm (cited 1999/6/5)
	表、図、写真の製本時の承諾	入力・カラー経費削減上、本雑誌はカラーでなく白黒でのプリントとなります。
	略語 略語一覧表、用語の定義	略語は、表題・抄録・本文最初に完全な用語を書き以下に略号を用いる旨を明記する。臨床検査、臨床工学、放射線等で多数の略語が使用される場合、本文中での略語説明のみでは文章が理解しにくいので、Excel版で欄外下表のような略語一覧表を作成し、論文末尾に掲載してください(看護系での用語の定義も同様)文末の注1、注2を参照*
投稿時に同封されなければならないもの	原稿プリント 提出時の印刷物の構成 提出印刷物の内容は右の構成となりますので提出前に再度確認してください	論文構成の項目に従った掲載順序どおりに、全ての文・抄録・表図写真等が印刷されたものを提出してください。 題名、施設・所属名、著者名(ルビあり)、和文(または英文)抄録、索引用語(キーワード、Key Words)、本文、謝辞、文献、追加、付録、欧文(または和文)抄録(題名、施設、所属、著者名、抄録本文、Key Words キーワード)、表・図・写真
	ディスク添付	ソフト: Word, Excelで編集されたCDが同封されていますか?ほとんど全てがWord, Excel投稿の為、ソフトを上記に限定しました。出版費用の80%が校正費であり、経費圧縮の為、素人の編集委員が校正をすることにしました。その為、全ての投稿内容をディスクに収めた状態での、ディスクでの投稿を厳格にお願い申し上げます。
本誌掲載論文等の取り扱い	所在	1. 著作権は当本部に帰属させていただきます。 2. 必要により、本部より、抄録等を作成・掲載・出版できるものとします。
原稿締め切り		11月末日締め(投稿に関しては通年して受け付けております)
発刊		原則、翌年3月1日
原稿送付先		〒951-8116 新潟県新潟市中央区東中通一番町86番地109 新潟県厚生農業協同組合連合会 人事部内 新潟県厚生連医誌編集委員会、TEL 025-230-2664、FAX 025-228-0990、E-mail kenshu@niigata-kouseiren.jp HP http://www.niigata-kouseiren.jp
採択		初回投稿原稿は、新潟県厚生連医誌編集委員会の責任において複数人により査読を行い、必要に応じ訂正後の再投稿をお願いすることがあります。
備考	患者情報保護への配慮	1. 症例解析に必須でない不要な記述を削除する(例: 患者氏名、イニシャル、雅号、現住所、詳細な日付、詳細な病院・他院住所・診療科名、症例を特定しうる番号)。 2. 顔を含む写真の掲載時は目を覆い隠す。眼疾患時の写真は眼球部のみの拡大写真にする。
	投稿記載規定参照	1. International Committee of Medical Journal Editors. Uniform requirements for manuscript submitted to biomedical journals. N Engl J Med 1997; 336: 309-16. [cited 2009 Nov 25, p.7]. Available from: URL: http://cont.nejm.org/cgi/reprint/336/4/309.pdf . 2. 国際医学雑誌編集者委員会 ICMJE. 生医学雑誌への投稿のための統一規定: 生医学の発表に関する執筆と編集、2005年10月改訂版、翻訳版. オンラインジャーナル http://www.toukokuitei.net/URM200510.pdf (引用アクセス2009年11月25日)

*

注1. 本論文で使用した略語一覧表

ABC	aneurysmal bone cyst	動脈瘤様骨嚢腫
ABC	antigen binding capacity	抗原結合能
ABC	airway, breathing, circulation	救命処置の手順
CHD	congenital heart disease	先天性心疾患
CHD	congestive heart disease	うっ血性心疾患
CHD	coronary heart disease	冠動脈性心疾患
CHD	cyanotic heart disease	チアノーゼ型心疾患

注2. 本論文で使用した用語の定義一覧表

インフォームド・コンセント	informed consent, IC 説明に基づく同意。患者が医師や看護師から検査や治療について十分な説明を受け、疑問点などを解消し、納得して検査・治療を受けることに同意すること。現在、医療を提供する上で重要な要素となっている。
性同一性障害	gender identity disorder, GID 生物学的、肉体的な性と頭脳の性の不一致という深刻な性別違和の悩みをもととする疾患。1997年に日本精神神経学会によりガイドラインが制定された。
劇症型 A 群レンサ球菌感染症	streptococcal toxic shock-like syndrome, TSLS A 群溶連菌による突発性の敗血症ショックと軟部組織の壊死性炎症を伴う重篤な疾患。まれな疾患であるが、いったん発病すると急速に進行し、腎不全、肝不全、DIC などの多臓器不全での死亡例が多い。